

同窓会会員の皆様へ

創立50周年に向かって

同窓会会长 大栗利夫

同窓会会報
むすせき

調和のとれた人間形成

新緑が目に眩しく映る季節を迎え、同窓生の皆様には益々御健勝にてご活躍のことと御慶び申し上げます。

皆様もすでに御承知のことと存じますが、母校は昭和三十五年四月に開校されております。これも偏に地域の皆様を始め多くの方々から母校教育に対する温かな御理解と物心両面に渡つての御支援・御協力があればこそと、卒業生の一人として深く感謝を申し上げます。

四十六期生(六一五名)がこの三月に卒業され、新会員として入会したことと同窓会は三万

余名の会員を擁することになりました。今年度より事務局長職を新たに事務局に置くことで一層の充実を図る所存です。

母校の教育は國學院大學の建学の精神に基づいた「頭・心・体」の力を鍛える教育を標榜してのスタートがありました。こ

者 大学校会
行院等窓同
(〒328-8588)
栃木市平井町608番地
電話 0282-22-5511

第31号



梅雨に映えるつりがね草

期待される進学校

想いは今も

卒業30周年会
15期生集いの会卒業三十年という
節目を同期の全クラスで祝いたいという

新たな伝統を

遡ること十二年前、國學院栃木中開設時に設けられた特別選抜コースも毎年充実し、学力向上の面において著しい成果をあげています。特に平成十二年度から平成二十年三月の卒業生の進路状況を見ますと、国公立大学への合格者数は常に前年度を上回り、今年に至っては現役生が一三四名、浪人生を入れると一四一名の者が合格したとのことです。私立大学への合格者もとに、教職員が熱心にその教育の実践に集団として立ち向かって、駿の厳しい学校作りと文武両道を目指す指導をして下さったことで、県下有数の私学としての信頼をはやい時期に得られたのではないかと思います。

うした不動の教育理念や方針のもとに、教職員が熱心にその教育の実践に集団として立ち向かって、駿の厳しい学校作りと文武両道を目指す指導をして下さったことで、県下有数の私学としての信頼をはやい時期に得られたのではないかと思います。

うした不動の教育理念や方針のもとに、教職員が熱心にその教育の実践に集団として立ち向かって、駿の厳しい学校作りと文武両道を目指す指導をして下さったことで、県下有数の私学としての信頼をはやい時期に得られたのではないかと思います。

うした不動の教育理念や方針のもとに、教職員が熱心にその教育の実践に集団として立ち向かって、駿の厳しい学校作りと文武両道を目指す指導をして下さったことで、県下有数の私学としての信頼をはやい時期に得られたのではないかと思います。



恩師を囲んで、笑み満面

られた同期生の御靈に默禱を捧げ、福島洋二代表幹事の挨拶、栗利夫同窓会会长（木村好成校長・大井隆幹事による音頭で乾杯、歓談となつた。

多感な青春期を太平台の学舎にて共に悲喜を分かち合つた友とは卒業後も変わらぬ交際をなさつてゐる方々も多々いるが、この集いの会の魅力はなんと言つても、卒業以来三十年ぶりの再

平成20年度 幹事会報告

平成二十年度同窓会総会（幹事会）が六月七日（土）母校第一会議室において開催された。議事に先立ち、木村好成校長より、同窓生の母校に対する多大な支援への感謝と、草創期の方々が「私学の雄」を目指して力を尽くされたことを忘れずに、現在は五期生である影山博副校長を中心に学業・部活動両面で大きな成果をあげていること、更に、今年九十六歳となる佐々木周二名譽校長とともに創立五十周年を迎えたとの挨拶がなされた。

来賓挨拶（木村好成校長・大井隆幹事による音頭で乾杯、歓談となつた。議事は、第一号議案である平

会にある。高校時代の面影があり、すぐさま互いの名が浮かぶこともあるが、互いの変容に驚きを隠せない再会もある。いずれにしても言葉を交わせば、在りし日のエピソードや学校行事等の思い出話、近況報告や昨今母校の発展ぶりなど話題は尽きず、大いに盛り上がつた。

最後に、全員で校歌を高らかに斉唱し、前島清史副代表幹事の閉会の辞をもつて終了した。

成十九年度事業報告から第二号議案平成十九年度決算報告及び会計監査報告、第三号議案平成二十年度事業計画案、続いて第四号議案平成二十年度収支予算案と順次すすみ、審議・承認された。

続いて第五号議案会費・会則改定についてでは、会則第五条に役員として校内幹事を置くこと、その委嘱について第六条を改定すること、また事務局の運営進行を円滑にすべく事務局職を置くこと、併せて、第十三条の会費、第十四条の事業について審議され承認を得た。

第六号議案役員改選についてでは、第五号議案で承認された事務局長に、影山博中学高校副校長（五期生）が就任すること、併せて、副会长に長谷川孝氏

卒業生の皆さん、こんにちは。特に四、五十代の御方は社会の中心となって御活躍のことと拝察いたします。

私はこのたび定年退職いたしましたが、この間、十回の卒業生を送り出しました。私の信念は明治天皇お諭しの教育勅語です。「父母ニ孝ニ、兄弟ニ友ニ、夫婦相和シ、朋友相信シ、恭儉ニレヲ持シ、博愛衆ニ及ホシ、云々」は世界人類の普遍的真理です。戦後教育はこれを否定したため、現代の少年犯罪などに見られる社会問題は目を覆うばかりです。

在職中私は、生徒たちがよき国際人になれるよう日本の伝統や正しい日本史を説いてきました。また部活動では、柔道部、野球部、テニス部を担当し、それぞれ総体、甲子園初出場、県大会男子団体三位の感動は忘れられません。

今は読書、執筆、旅行、囲碁、テニス等を楽しんでいます。善く言えば多趣味の隠居暮らし、悪く言えば彷徨の日々です。そして鏡の中の白髪を見ると、社会に役立たずの残滓（ざんし）（残りかす）を覚えるのみです。最後に卒業生の活躍を祈念して止みません。

贅言ですが、約四十年前に理科の永井伴和先生と中庭に桜の木（通称N.M.桜）を植えました。今では見事な大木になりましたので、花見時には是非見に来て下さい。

在職中いろいろなことがありましたが、大過なく過ごすことできましたのも皆様の温かい

仲間、生徒たちと共に歩んだ四十年



水代勲
地歴公民科



淀縄健一郎
国語科

（九期）、会計監査に田原千晶氏（三十期）、理事に佐藤治雄氏（四期）、藪下和弘氏（十七期）、坂上勇輔氏（二十九期）がそれぞれ推薦され、承認を得た。

最後に第十六期生による卒業三十周年集いの会が本年十一月に予定されているとの報告があり、会は滞りなく終了した。

退職にあたり、学校、同僚、卒業生に計十回も退職祝いをしていただき、人情味に感涙の日々がございました。

ご支援ご指導の賜物と深く感謝しております。本当にありがとうございました。

本校に赴任し、最初に担任した商業科二年一組の諸君の卒業時の言葉、「兄貴、早く結婚しろよ!」「一国一城の主になれよ。」「俺たちのクラスよりよいクラスを作れよ。」などは今でも鮮明に覚えています。その言葉を聞き、「よし、やってやるぞ。必ずよいクラスを作つてみせるぞ。」と決意を新たにしたその時こそが、本当の意味での教師人生の出発点でありました。

また部活動でも、剣道部、なぎなた部、野球部と携わり、その中で素晴らしい人間関係、信頼関係を構築することができました。なぎなた部の全国制覇、野球部の甲子園出場など、輝かしい足跡を残すこともできました。素晴らしい部員たちに巡り会い、私は本当に幸せ者であると深く感謝しております。

今後、肉体的には老けていくとは思いますが、精神的な老化だけは絶対にしないよう、次の言葉を肝に銘じ、前向きに生きていこうと考えています。

『青春とは人生のある期間をいうのではなく、心の様相をいふのだ。優れた創造力、逞しき意志、

炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒險心、こうう様相を青春というのだ。

年を重ねただけでは人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る。

人は信念と共に若く、疑問と共に老いる。

人は自信と共に若く、失望と共に老いる。

何はともあれ、何事も健康第一。卒業生の皆さん、お身体に気をつけて、前向きに人生を生きていって下さい。



峰野進
地歴公民科

三階の窓を開けて遠くに見える

いい女子生徒が何人かおり、頬もしいクラスでした。この一年「ここでの教師生活が始まるんだ」という熱い思いが湧いてきたことを今でも鮮明に思い出します。それ以来四十一年間、よき先生方、生徒たちに支えられ、勤め終えることができました。

数々の思い出の中からいくつか述べさせていただきます。

一つ目は商業科一年副担任の時のことです。この時、会計事務所に勤務されていた故斎藤実先生も一緒でした。先生は初めて教員になったということもあり、非常に熱心で情熱的でした。私より年上にも関わらず、授業を終えて職員室に戻るといつも額に汗びっしょりで、私は先生を大変尊敬していました。夏休みに入り、ほつとしている私に信じられないショッキングな知らせが入ってきました。昭和四十一年の三月、ちょうど春休みに入っている時期であり、栃木駅前は閑散としており、何となく気怠さが漂っていました。人通りの少ない駅をあとにしてバスに乗り込み、國學院栃木高校に向かいました。一杉橋を過ぎた頃から何となく心細い気持ちが湧いてきたのを覚えていました。気を取り直して学園坂を登り、正面玄関で来訪を告げると、故若林先生の温厚な笑顔によ迎えられ、親切な案内で校舎を見て回りました。最後に東館

三階の窓を開けて遠くに見える

いい女子生徒が何人かおり、頬もしいクラスでした。この一年「ここでの教師生活が始まるんだ」という熱い思いが湧いてきたことを今でも鮮明に思い出します。それ以来四十一年間、よき先生方、生徒たちに支えられ、勤め終えることができました。

数々の思い出の中からいくつか述べさせていただきます。

一つ目は平成五年十二月二十日から二十九日に社会科教諭の有志によって中国(西安・北京)旅行に行つたことです。これほど楽しかった旅の思い出はありません。この時の感動をそ

の当時の校報に「中国で一番感動したのは万里の長城に立った時である。この長城を一度見れば毎日こせこせしている自分の人生観など変わってしまうほどだ。スケールの大きさに圧倒され、改めて中国の歴史の重さを実感させられるのであった」とやや興奮気味に記しています。

二年七月二十三日夜中に、斎藤先生が突然心臓麻痺に襲われ亡くなられたというのです。この件は私の心中に深い悲しい出来事として残っています。

一つ目は平成元年に受け持つたクラスのことです。このクラスにはバレー部所属で明るく活発なリーダーシップ抜群の磐井誠子さんと川津恵美さん(現本科は理系一クラス、文優一クラスを含む計十クラス、商業科は三クラス、全校で三十九クラスでした。また、一クラスの人数は六十人でした。私は普通科一年生の三クラスの授業に出ましたが、その一クラスが六十二人

であつたのを覚えています。その当時、部活動がたいへん活発で、特に運動部はいくつも県予選を勝ち抜いて全国大会に出場し、全国でも優勝や上位入賞を果たしていました。その中で交じって、実戦経験の少なかつた私でしたが卓球部の顧問に任命され、放課後になると卓球場に行つて部員たちと仲良く汗を流しました。以前は卓球部も全国大会に出場していたそうですが、私の時は一度だけジュニアの大会で全国大会に出場でき、代々木体育館で試合を行いました。一回戦で惜敗しましたが、よき思い出となっています。また優秀な選手が五、六人いた時代は団体戦において常にベスト8入りをしていました。

ホームルーム担任としては活動なクラスが多く、一番印象に残っているのは、班ごとに壁新聞を作つたことです。クラスがよりよくなるようにと各班で模造紙一枚に発表していく、二週変わりで一枚を更新していく方法で続けました。文化祭では、

平成 20 年度大学入試結果

平成20年度
大学入試結果

國公立大の合格者 一四〇名突破

◎平成二十年度入試の概要

◎平成二十一年度入試の概要

なる原因であり、国公立大学の志願倍率は、四・九倍と前年より〇・一ポイントアップし、依然として国公立大学志向は強まっていると言える。

◎ 母校の入試結果

◎ 母校の入試結果

母校の生徒の入試結果であると、文系では「経済・経営・商」学系が安定した人気を保ち、理系では「理・工」学系が二年連続で志願者数を増やしている。逆に以前人気の高かった「薬・歯」学系や「家政」学系の資格系が受験生を減らしている。

私立大学では、早稲田大学は一八名、うち一六名が現役合格し、RCH（明治・青学・立教・中央・法政）が五二名、医学部医学科にも一二名合格した。また、系列の國學院大學では七三名、栃木短大は一三名を合格している。

教室の壁の七割くらいの大きさで名画「ゲルニカ」を、ベニヤ一枚の大きさで「四季」の美しさを計四枚貼り絵で制作しました。クラス全体で取り組んだこの二つの作品は印象深く心に刻まれています。

明るくする団体が多くたところを
減らす運動を実行委員とともに
夜遅くまで相談して取り組んだ
ことも大きな思い出の一つです。
以上、四十年間を思い出して
の羅列に過ぎませんが、これら
の思い出を胸に、今後も頑張つ
ていきたいと思います。

少したが、志願者数は増加した。

が、国公立大学（文部科学省管外大を含む）において、

【平成十九年度分】
会費納入者芳名

氏名上の数字

氏名上の数字は卒業期



全国大会強豪に善戦 柔道部

東京代表の名門国士館との対戦。先鋒・
倉持選手が縦四方固
めで一本を取られた
が、次鋒・羽鳥選手
が優勢勝ちを収め、
相手次鋒とも引き分
けた。中堅・田中選
手が支え釣り込み足
で一本負けを喫する
も、副将・北野選手

順当に勝ち進み、三
年連続ベスト8入り

第三十回全国高等学校柔道選手権大会が三月十八日(火)から三日間にわたり、東京の日本武道館で行われた。

ての戦いとなつた。前半は自陣での攻防を強いられ、先制トライを奪われたが、懸命のタックルで失点を最小限に抑えた。5点を追う後半、重量FWが威力を發揮し、ラインアウトからモールを押し込み同点トライ。更に相手ゴール前のラックでの連續攻撃が相手の反則を誘い、認定トライを奪つて逆転。FW戦で優位に立ち、最後は宇賀神選手がだめ押しとなるトライを決め、見事に二年前の雪辱を果たした。

第八十七回全国高等学校ラグビー
一フットボール大会栃木県予選会の決勝戦が、平成十九年十一月十日（土）栃木市総合運動公園陸上競技場で行われた。宿敵佐野高に快勝し、八年連続十二度目の花園出場を決めた。

が優勢勝ち。相手副将に一本を取られるも、すぐに大将・後藤選手が小外掛けで取り返した。大将同士の対戦で敗れ、あと一步のところで4強入りを逃したが、夏のインターハイでの雪辱が期待される。

荒尾高に雪辱 ラグビー部

者、佐賀工に軍配が上がった。残念ながら初のシード越えとベスト16への進出はかなわなかつた。

また、第三十一回全国高等学校東西対抗試合に花園での活躍が認められた宇賀神文彦選手が東軍選手としてフル出場した。

本校ラグビー部として六人目の快挙である。

しかも関東の大学生からの選抜は初めてである。

流通経済大学では、一年生の育成チームで下積みをした時の悔しさをバネに努力した結果、三年生でその成績がよい方向に表れ、全日本大学選抜にも選ばれ、四年生の時はユニバーシアード代表にも選ばれた。

二回戦はBシードの佐賀工と対戦した。スクラムとモールの強さや、バックス陣のパスやキックの正確さで、花園のスタンドを何度も沸かせた本校だが、追い込まれた場面での密集から球出しの速さや得点に結びつ

本校出身（第四十一期普通科卒業生）の武井沢也選手が、この春J1リーグのガンバ大阪に入団した。

Jリーガー誕生

平成十九年度全国総合体育大会結果	
【陸上競技部】	男子走幅跳 本橋勇希選手
女子百・二百m	予選落ち
橋本奈央子選手	準決勝敗退
女子百m	予選落ち
野口沙希選手	5位入賞
女子四百mリレー	(野崎美浪選手・野口沙希選手・関口慧選手・橋本奈央子選手)
【剣道部】	個人 柏嶋万里奈選手 ベスト8
【柔道部】	男子団体 予選リーグ敗退
個人 岩上慶信選手 ベスト8	【ハンドボール部】
男子 なぎなた部 3回戦敗退	団体 予選リーグ敗退
女子 バレーボール部 予選リーグ敗退	個人 佐藤亜季選手 ベスト16
【ファンシング部】	個人 萩原宏樹選手 ベスト16
個人 予選リーグ敗退	3回戦敗退



写真提供：GANBA OSAKA

平成十九年度全国総合体育大会結果

男子団体	予選リーグ敗退
個人 岩上慶信選手	ベスト16
【ハンドボール部】	
男子	3回戦敗退
【なぎなた部】	
団体	予選リーグ敗退
個人 佐藤亞季選手	ベスト16
【バレーボール部】	
女子	予選リーグ敗退
【フェンシング部】	
個人 萩原宏樹選手	ベスト16

会員だより

本校の卒業生も今年で三万人を越えた。各界で活躍している卒業生の数も多く、時折新聞などで取扱い上げられている。そこで会報では各界で活躍されている卒業生を紹介しようと考へ、今回は三人の卒業生に、母校の思い出や現在の仕事の様子、近況などを書いてもらつた。



外交官として思うこと

笛木 亮 (普 28 期生)

國學院栃木高校を卒業して数年後に、希望だった外務省に入省することができました。外務省で数年の勤務の後、アフリカやイスラムのジユネーブ、そしてパキスタンのカラチにある在外公館で勤務をしました。それぞの国が、それぞれ特有の習慣・文化を持っており、どれも甲乙つけがたいすばらしいものがありました。もちろん、厳しい気候や風土病に悩まされたこともしばしばありました。それでも今となっては良い思い出です。

これらの国々の中で特に印象深いのが、いわゆる発展途上国と呼ばれる国における勤務でし

パキスタン
笛木亮 (普 28 期生)



た。アフリカで感じたのは、病気や貧困に苦しみ、悩まされている人々がいかに多いかということでした。それらの国々に対して、必要な援助を行って、慢性的な病気や貧困から抜け出せるよう支援を行うことが重要です。いわゆる ODA (政府開発援助) と呼ばれている支援がその代表的なものです。そのため受けた方にはやはり親日家が多いようです。



舞台に魅せられて

阿瀬見 貴光 (普 30 期生)

私は自分の一番好きなことを仕事にしています。この道を志した時から現在に至るまでの約二十年、好きなことへの情熱や喜びは変わりません。私はオペラ歌手です。メイク、衣裳を着け、舞台で歌い演じることが私の仕事です。

この道に進むきっかけは、芸術科の峰茂樹先生 (現役のオペラ歌手) の公演で、舞台表現の魅力にとりつかれました。そ

れ以来、今まで体育系ムキムキの少年であった私は「うた」を極めたいと強く思うようになりました。國學院合唱部こそが私にとって必要な助言等をする邦人保護と、パキスタンの現在の政治および経済情勢等を正確に日本人に伝えることが重要であるということです。パキスタンのカラチでは、爆弾テロ事件が多数発生していたこともあり、在留邦人や日本人旅行者に対して、渡航情報 (危険地域や治安情報等) や政治経済情報を伝達することで、安全に生活や仕事ができるよう支援することが重要です。また、その国人達に日本という国についてもっと理解してもうらう活動も不可欠となってきており、日本の和太鼓や生け花の

おもてなし精神が世界に広がる活動も行なってきました。今までと違った視野が開けるはずですし、何よりも色々なことに関心が持てると思えるからです。

（外務省書記官）

分のできる範囲内で、日本や国際社会に貢献しようと努力することです。今までと違った視野が開けるはずですし、何よりも色々なことに関心が持てると思えるからです。

（外務省書記官）

増えることに繋がっています。在外公館における仕事の一部を紹介しましたが、これらの中でも皆さんにもできることがあります。一人ひとりが無理なく自分

の伝統文化の紹介や、日本語教室を開いて日本に親しみを感じてもらうことも、活動の一環としても行っています。それにより、日本の国をより深く理解してもうるようになり、貿易額が増えたり、日本を訪れる観光客が増えたり、日本を訪れる観光客が

増えています。それにより、日本の舞台の原点であると、プロの歌手になった今でも誇りに思っています。

現在私は毎日、東京初台にある新国立劇場に通っています。この劇場は、年間十演目以上を上演する世界的レベルのオペラハウスです。世界中から一流の指揮者や演奏家、歌手が集まりそれぞれの鋭い感性をぶつけ合いまがら、夢のような舞台を作り上げていきます。この劇場では、ハイクオリティを維持するが故に、歌手たちは毎年行われるオーディションに合格しなければ生き残れません。厳しい世界ですが、舞台と聴衆が一体となつたと感じる瞬間でもあり、何とも言いやうのない充実感に包まれます。

自分は、歌うこと以外に大きな仕事があります。アマチュア音楽団体の育成です。プロの舞台で培った技術や経験を社会に還元する活動を通して、人々の笑顔を増やし、さらに地域の文化向上につなげたいと思っていました。困難を乗り越える度に、多くの人たちに支えられていること

を実感します。そしてオペラ歌手への道に進むことを理解し、協力・支援してくれている両親

と家族に心から感謝しつつ、今日も私は舞台に立っています。

(オペラ歌手)

『メタボ対策 やっていますか?』

中島信一郎(普22期生)

「お腹をたたくと脂肪は減るのかなあ?」「刺激になつて活性化するから効果あるんじゃないの。」「さすてもいいみたいだよ。」

4月から厚生労働省による特定健診・保健指導制度がスタートし、「メタボリックシンドローム」という言葉や腹囲「85センチ」というような数字が話題になつています。噂では腹囲84センチの方が激増しているとか。

自立的に健康になるための努力をすることで、医療費の増額を少しでも抑制することが狙いの制度ですが、健康になること 자체は悪いことではなく、むしろ歓迎すべきことです。フィットネスクラブでも積極的なメタボ対策を行っています。

私もサッポロビールグループでフィットネスクラブを経営する現在の会社に出向して一年が経過しました。当時は毎日運動ができると思い大変喜んでいたのですが、仕事が忙しく、かえつ

て運動の機会が減つて、逆に体重は増えてしまったので、迫り来る健康診断の恐怖に懼いておられます。

先日、うちの会員の皆さんに健康と運動に関するアンケート調査を行いましたが、やはり皆さん健康の意識は高いものの、継続的に運動をすることは不安を感じているようでした。

今度の制度も、継続的な運動が可能となるようなシステムが構築出来るかどうかが成果を上げるポイントの一つです。

健康とは心と身体のバランスがとれて初めて成立するものなので、我がクラブでは、身体だけなく、心にもいいものはサービスとして提供していくことを考え、初心者でも興味をもつてもらえるような様々な企画を用意しています。メタボ対策としてはまず、まずはお近くのフィットネスクラブに立ち寄ってみませんか。

(株)サッポロスポーツプラザ取締役

母体・國學院大學渋谷キャンパス再開発なる

若木タワー・学術メディアセンター竣工

母体である國學院大學の創立百二十周年記念事業の一環として、平成十八年に「若木タワー」が、今年三月には「学術メディアセンター」が竣工した。



渋谷キャンパスにそびえる若木タワー（一五〇名収容）を設け、学生、教職員の教育・研究活動環境の改善を実現した都市型大学の理想形といえよう。

また、今年三月に竣工した「学術メディアセンター」

は、地下一階地上六階建て（延べ床面積約一七、四〇〇坪）で、図書館、伝統文化リサーチセンター資料館、国際会議場（常盤松ホール）、情報センター、日本文化研究所など國學院大學の「知」が集約されており、研究教育活動の重き的推進およびその成果の発信を割り果たすものである。

来年三月には、新講義棟も竣工する予定で、益々充実していく母体國學院大學である。

特筆すべきは、地下二・二、三階を占める新しい図書館。地下には事務局、五・六階には大学院研究室・演習室、七・一七階は教員個人研究室、最上階には國學院大學の前身である皇典講究所初代総裁の名前を冠したイニシャルホール「有栖川宮記念ホール」、二階の検索端末



学術メディアセンターエントランス

から請求できる自動書架および五〇万冊収蔵の集密書庫を配置し、図書収蔵機能の充実を実現している。一階の人文科学系の図書、三階の社会科学系の図書合計約七五万冊は開架され、利用者が自分が手にとって利用できるようになったのも新しいところ。

また、自然光をたっぷりと採り入れた明るく開放的な内部には、一階の「カフェラウンジ若木が丘」をはじめ随所に憩いのスペースも設けられ、学生にとっての利便性は大幅に向上している。

また、自然光をたっぷりと採り入れた明るく開放的な内部には、一階の「カフェラウンジ若木が丘」をはじめ随所に憩いのスペースも設けられ、学生にとっての利便性は大幅に向上している。

國柄中の宿泊學習

國柄中最大の行事は三年時に行われるニュージーランド語学研修である。その語学研修に向けて、一年生から三年生まで、春は自然体験学習、秋には校外学習と宿泊学習を行い、生徒の情操を養い日本文化のすばらしさを伝える教育をしている。

ヨーロッパへの
参

平成二十年二月二十五日、
中学三年生四十九名はニュージーランドへと向かった。この語学研修は、中学校開校当初からの行事であり、今回で十回目となつた。十五泊十六日の日程で、昼は語学学校での学習、夜は各ホストファミ



リードを送った。学校では、英語の授業だけでなく、カヌーに乗ったり、スポーツで汗を流したりなど、様々な屋外活動も組み込まれており、生徒は語学だけでなく、現地の空気、自然も存分に堪能できたのではないかと思う。

（ライストチャーナーにて）
りも日を追うごとに
さまになつていった。
約二週間の滞在で、
ほとんど変化のない
我々大人と比べると、
生徒たちの適応能力
には脱帽である。

この語学研修の中
で、生徒は相手に自
分の気持ちを伝える

親のありがたみを感じながら、一日目が終了した。

二日目はいよいよ登山。険しい山道をかき分け登り切つたあの感動は一生忘れない思い出となるであろう。クラスの皆と力を合わせながら登り切り、クラスの絆も深めることができたのではないか。

でしたが、車中ではクラス各自のカラーが出、体調を崩す者もなく楽しく群馬県赤城山へ到着した。夏を思わせるほど の暑さの中、地蔵岳を歩き、夕方から野外炊飯が始まつた。自分たちで火をおこし、料理をするという初体験のことばかりにとまどいながらも、無

一年 初日は天候にも恵まれ、晴天のもと教育センターに集合。これから始まる二泊三日の宿泊合宿に付一の用意三、安を胸に出発

自然体験学習

様々な手段を会得したようである。また、学習面だけではなく、ホームステイという慣れないので環境の中で、精神面も大きく成長した。この研修で学んだこと、感じたことを中高一貫教育後半の三年間に活かしてもらいたい。

三日目の各班に分かれての創作活動も、前日までの疲れを一切感じさせずに楽しく行うことができたようであった。

二年 五月二十五日から
の三日間、「国立那須
甲子青少年自然の家」において第一学年の自然体験学習を実施した。

一日目の剣桂ハイキングは、約三時間の行程でハイキングとはいうもののアップダウンの激しいコースだった。二日目は、この自然体験学習でのメインイベントである赤面山登山を行った。標高一七〇一m、往復八時間要するこの山は、三学年の中でも最も過酷な山である。橋の架かっていない沢を石にのりながら渡ったり、岩場を登つたりと難所

A black and white photograph of a large group of people, likely students and faculty, posing for a group photo. They are arranged in several rows, some standing on a rocky outcrop and others sitting or kneeling on the ground. The group is diverse in age and attire, with many wearing casual clothing like t-shirts and jackets. The background shows a hilly landscape under a clear sky.

登頂の歓喜

三
年

第三学年は、奥日光・尾瀬方面へと出発した。心配されていた天候に



間見え、最上級生となつた生徒たちの成長を感じることができた。今後の生活にぜひ活かしてもらいたい。

も恵まれ、生徒たちは、雨に濡れることなく存分に自然を満喫することができた。一日目のキャンプ村では、飯盒炊さん、ランプ生活を体験し、日常生活のありがたさを実感する良い機会となつた。

「中西進の萬葉未來塾」

中西先生の万葉の世界

ものであった。朝日新聞社の大阪本社や地元のマスコミが取材する中での授業で、生徒達は少し緊張気味では少しあつたが、生徒の中どんどん入って問答していく中で西先生の見事な授業展開で、生徒達は楽しみながら授業に臨んでいた。

後日、朝日新聞の特設欄にその授業風景が載せられた。

対象に、万葉時代の文学と文化を授業として指導している。今年は鹿児島県の屋久島小学校に次いで二番目の学校として実施された。教材は、『万葉集』の山上憶良の歌「瓜食（は）めば」の「」とその反歌の「銀（しろかね）の」を事前に生徒達が暗唱し、その内容を授業で解釈していくというものであった。朝

平成19年度収支決算書（基金勘定）

平成19年度収支決算書（一般勘定）

科 目			決 算 額	予 算 額	比較増△減	摘要
款	項	目				
1.基金会費			6,250,000	6,200,000	50,000	
	1.基金會費		6,250,000	6,200,000	50,000	
		1.基金會費	6,250,000	6,200,000	50,000	10,000×625人
2.繰越金			929,118	929,118	0	
	1.繰越金		929,118	929,118	0	
		1.前年度繰越金	929,118	929,118	0	
3.雑収入			0	882	△ 882	
	1.雑収入		0	882	△ 882	
		1.雑収入	0	882	△ 882	
4.一般勘定より繰入						0
収 入 合 計			7,179,118	7,130,000	49,118	

科 目		決 算 額	予 算 額	比較増×減	摘要
款	項	目			
1.会費収入		8,741,000	8,640,000	101,000	
	1.会費収入	8,741,000	8,640,000	101,000	
		1.会費収入	7,500,000	7,440,000	60,000 12,000×625 人
		2.30年会費収入	1,140,000	1,000,000	140,000
		3.年会費収入	101,000	200,000	△ 99,000
2.繰越金		1,852,359	1,852,359	0	
	1.繰越金	1,852,359	1,852,359	0	
		1.前年度繰越金	1,852,359	1,852,359	0
3.雑収入		0	641	△ 641	
	1.雑収入	0	641	△ 641	
		1.雑収入	0	641	△ 641 銀行利子
収 入 合 計		10,593,359	10,493,000	100,359	

科		目	決算額	予算額	比較増△減	摘要
款	項	目				
1.財産へ繰入			2,000,000	2,000,000	0	
	1.財産へ繰入		2,000,000	2,000,000	0	
		1.財産へ繰入	2,000,000	2,000,000	0	
2.名簿作成			0	170,000	△ 170,000	
	1.名簿作成費		0	170,000	△ 170,000	
		1.名簿整備費	0	100,000	△ 100,000	
	2.諸給費		0	50,000	△ 50,000	
		3.通信費	0	20,000	△ 20,000	
3.学園助成費			2,500,000	2,700,000	△ 200,000	
	1.学園助成費		2,500,000	2,700,000	△ 200,000	
		1.奨学金費	0	200,000	△ 200,000	
	2.助成費		2,500,000	2,500,000	0	
4.備品費			192,415	500,000	△ 307,585	
	1.機器備品費		192,415	400,000	△ 207,585	
		1.機器備品費	180,970	300,000	△ 119,030	
	2.維持管理費		11,445	100,000	△ 88,555	
	2.什器備品費		0	100,000	△ 100,000	
		1.什器備品費	0	100,000	△ 100,000	
5.事業費			500,000	500,000	0	
	1.事業費		500,000	500,000	0	
		1.同窓会50周年記念積立金	500,000	500,000		
5.予備費			0	1,260,000	△ 1,260,000	
	1.予備費		0	1,260,000	△ 1,260,000	
		1.予備費	0	1,260,000	△ 1,260,000	
支出	合計		5,192,415	7,130,000	△ 1,937,585	

支出の部		科 款	目 項	目	決 算 額	予 算 額	比較増△減	摘 要
1	事務費				2,840,140	2,750,000	90,140	
	1 事務費				2,616,275	2,550,000	66,275	
		1.消耗品費			35,230	50,000	△ 14,770	
		2.印刷費			521,455	500,000	21,455	幹事会ハガキ他
		3.通信運搬費			2,059,590	2,000,000	59,590	会報発送他
	2.会議費				223,865	200,000	23,865	
		1 会議費			223,865	200,000	23,865	
2.	事業費				5,540,730	6,200,000	△ 659,270	
	1.会報出版費				1,052,710	1,200,000	△ 147,290	
		1.会報出版費			1,052,710	1,200,000	△ 147,290	印刷費
	2.助成費				920,500	1,500,000	△ 579,500	
		1.30年集いの会			350,000	350,000	0	第 15 期生
		2.クラス会費			120,000	300,000	△ 180,000	10,000×12ヶ月
		3.大会出場費			0	100,000	△ 100,000	卒業生対象
		4.補助費			150,500	450,000	△ 299,500	生徒会、幼稚園等
		5.梅津杯助成			300,000	300,000	0	
	3.部活動積立金				1,000,000	1,000,000	0	
		1.部活動積立金			1,000,000	1,000,000	0	
	4.記念品費				2,567,520	2,500,000	67,520	
		1.記念品費			2,567,520	2,500,000	67,520	卒業生・成人者等
3.	涉外費				288,000	400,000	△ 112,000	
	1.涉外費				108,000	300,000	△ 192,000	1/3 小額・渡辺後援会
		1.涉外費			66,000	200,000	△ 134,000	
		2.広告費			42,000	100,000	△ 58,000	野球、ラグビ- 等
	2.福利厚生費				180,000	100,000	80,000	
		1.福利厚生費			180,000	100,000	80,000	
4.	慶弔費				46,029	75,000	△ 28,971	
	1 慶弔費				46,029	75,000	△ 28,971	
		1.弔慰金			45,000	50,000	△ 5,000	
		2.見舞金			0	20,000	△ 20,000	
		3.通信費			1,029	5,000	△ 3,971	
5.	予備費				0	1,068,000	△ 1,068,000	
	1.予備費				0	1,068,000	△ 1,068,000	
		1.予備費			0	1,068,000	△ 1,068,000	
	支 出 合 計				8,741,899	10,493,000	△ 1,778,101	

収入 7,179,118 円 支出 5,192,415 円 差引残高 1,986,703 円

収入 10,593,359 円 支出 8,741,899 円 差引残高 1,878,460 円

キャリア教育

◆高大連携授業

本校では多くの大学と提携し、高大連携授業を実施している。

その目的は、第一に大学の学部・

学科の特色や学問の内容を知り、正確な情報を得ることで入学後の不適合をなくすこと。第二に

大学教員の模擬授業を受講する

ことで、大学進学意識を高め、将来の学部決定の参考にするこ

とにある。

去る九月二十九日（土）、國

学院大学・國學院短期大学の教員により、第一回大学出張講義

が開催された。また十月二十七

日（土）に実施された第二回大

学出張講義では、多くの大学か

ら講師をお招きし、さまざまな

分野からなる二十一もの講座が

開かれた。また、本校は大学付

属校の利点を活かし、國學院大

學入学予定者（高校二年生）を

対象に、大学教員による講義

（入学前教育）が行われている。

受講した生徒には、大学入学後、

所定の単位が認定される。

◆SPP事業

文部科学省所管の科学技術復興機構では、「次代を担う人材への理数教育の拡充」施策の一環として、学校と大学・科学館

等の連携により、児童生徒の科学技術、理科・数学に関する興味・関心と知的探究心等を育成することを目的とする事業（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業・SPP事業）を実施している。

SPPは、文部科学省に実施内容を申請し、認定を得た学校のみが実施できる。

本校では、平成十六年度より毎年続けて科学技術振興機構によりSPP連携プログラムの申請を採択されており、十九年度も本校普通科二年生の理系生徒を中心、「研究者招へい講座」が実施された。

今回の企画では、『自然現象の具現化』という統一テーマを下に、実験実習を伴った五種類の講座が用意され、生徒たちは熱心に参加し、科学を探求する喜びを感じていた。

後日、各講座で学んだことを十分程度のプレゼンテーション資料にまとめた上で代表生徒が発表・説明し、質疑応答を行った。このことにより、参加した生徒は受講した講座の復習とともに、受講できなかった他の講座についても知ることができた。

今回のSPPに関しては、栃木ケーブルテレビで各講座の様子が取り上げられ、放映された。

平成 20 年度同窓会一般会計収支予算書

収入の部				
項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減額	摘要
会 費	前年度繰越金	3,865,163	2,781,477	1,083,686
	入会金（本年卒業生）	1,060,000	1,240,000	△180,000 2,000×530名
	30年会費（本年度卒業生）	13,250,000	12,400,000	850,000 25,000×530名
	30年会費（既卒者）	1,000,000	1,000,000	0 20,000×50名
年会費（既卒者）	100,000	200,000	△100,000 2,000×50名	
雑収入	837	1,523	△686	
合計	19,276,000	17,623,000	1,653,000	

支出の部				
項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減額	摘要
運営費	印刷費	600,000	500,000	100,000
	通信運搬費	2,500,000	2,000,000	500,000 会報発送、振込料
	機器備品費	300,000	500,000	△200,000
	消耗品費	50,000	50,000	0
会議費	300,000	200,000	100,000 離会会・本部役員会	
事業費(1)	会報出版費	1,200,000	1,200,000	0
	名簿作成費	150,000	170,000	△20,000
事業費(2)	学園助成費	2,500,000	2,700,000	△200,000
	30年集いの会助成費	350,000	350,000	0
	梅津杯助成費	300,000	300,000	0
	クラス会助成費	300,000	300,000	0 10,000×30 クラス
	補助費	450,000	550,000	△100,000 國際交流会食、幼稚園
記念品費	2,500,000	2,500,000	0 卒業生、成人者他	
渉外費	300,000	200,000	100,000 なまざ後援会他	
広告費	200,000	100,000	100,000 ラグビー大会他	
福利厚生費	200,000	100,000	100,000	
慶弔費	弔慰金 見舞金 通信費	50,000 20,000 5,000	50,000 20,000 5,000	0
積立金	基金会計繰入金 部活動後援積立金 同窓会 50周年記念積立金	2,000,000 1,000,000 500,000	2,000,000 1,000,000 500,000	0
次年度繰越金・予備費	3,501,000	2,328,000	1,173,000	
合 計	19,276,000	17,623,000	1,653,000	

事務局からのお願い
遠慮なく事務局に問い合わせて下さい。

編集後記

介しました施設は勿論のこと、百十周年一・二号館、講義棟など目を見張るものばかりです。

また、平成二十一年度より、新学部（人間開発学部・初等教育学科・健康教育学科の二学科）が開校となります。大学も新たな一ページを刻む訳です。

▼母校同窓会も理事制度を新設し、また新たに事務局に局長を設けるなど、新たな組織づくりを行っております。これも偏に会員との関係を密にすると共に、会員との発展を今まで以上に支えて行きたいと考えているからです。会員の皆様のより一層のご支援ご協力をお願い致します。

▼本校の母体である國學院大學も、二十一世紀にふさわしい変容を遂げております。本文で紹

いています。当会では、そのような事業は一切行っておりません。もし電話がかかって来た時は、そのまま電話がかかることがあります。当会では、そのような事業は一切行つておりません。

また不明な点がありましたら、致しております。